

【生活科年間指導計画参考資料】 せいかつ下 そよかせ

信州教育出版社

本資料は、新型コロナウイルス感染症対策にともない、臨時休業を実施していた小学校において、この6月からの学校教育活動再開に寄せて、子どもの学びを保障していくことを第一に考え、単元ごとに学校の授業以外の場での学習が可能であったり、感染症対策の観点から指導順序を変更する必要があったりする教材・学習活動を提示し、各学校の生活科年間指導計画再編の参考にさせていただくものです。

再編にあたっては、具体的な活動や体験を通して学ぶ生活科の教科特性や、低学年という発達段階、家庭環境の多様さを踏まえると、生活科の学習は、できるだけ学校で行うことが望ましいと考えます。そのため、各地域の実情に合わせて、適宜、教材・学習活動を増減させてご活用ください。その際、弊社発行の「指導計画作成資料 せいかつ」や、「信教出版EDU-TREE」のフリーコンテンツ内にあるダウンロード資料も参照してください。

なお、⑧⑨の項目にかかわっては、臨時休業期間中において、十分に実施できていない学習活動があることが考えられるため、学年間の連携や引き継ぎも欠かせません。

① 単元名	② 教科書ページ	③ 配当 時数	学習内容 ()内は時数	④ 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動	⑤ ④の教材・学習活動の概要、配当時数 ()内は時数 ※④に位置付けた理由	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑥の教材・学習活動の概要、配当時数	⑧ 次学年又は次々学年に移して指導することが考えられる教材・学習活動	⑨ ⑧の教材・学習活動の概要、配当時数 ()内は時数	⑩ ④の教材に係る配当時数を除いた、学校の授業が必要な時数
きょうから 二年生	p2-5	1	○2年生としての願いをもち、自らの生活をつくっていこうと工夫したり、動きだしたりする。(1)							1
二年生の 春	p6-17	8	○新しい教室づくり・生活づくりを自分たちで考え、工夫していく。(2) ○個々の願いを発表し合うことから、楽しいクラスづくりに向けた、みんなの願いを育てていく。(1) ○1年間、通い続けた「いつもの ばしょ」に出かけたり、その道すがらで、思い思いに自然に浸り、春を味わったりする。(4) ○(1年生の時より麦栽培に取り組んできたクラス)冬を越した麦が大きく成長したことに気づき、収穫への期待を膨らめる。(1)							8
れんげえんそく	p18-25	12	○自分たちの願い実現のために目的地までの行き方や手段を調べ、下見をしたり、持ち物を考えたりして、えんそくを実施する。(8) ○公共物の利用や安全を心がけたり、近隣の人々と積極的にかかわったりする。(2) ○自分たちで家庭にお知らせを出すなどして準備を整え、目的を果たせたことをよろこび合う。(2)	○自分たちで家庭にお知らせを出すなどして準備を整え、目的を果たせたことをよろこび合う。	※準備の段階から各家庭による協力をお願いしてきた活動ゆえ、学びの成果を親子で共有できる。(2)					10
いきものと いっしょ③	p26-29	4	○飼っているいきものとの暮らしの中で、いきものの気持ちを察しながら世話をし、張り合いをもってかかわりを深めていく。(2) ○飼っているいきものとの暮らしの中で気が付いたことや自分の思いを、作文や絵、歌などに表し、共に生活している友達の考えや願いを共有しながら、より楽しい暮らしをつくっていく。(2)							4
いっぱい みのって	p30-43	12	○収穫後の活動に思いを馳せながらダイズの栽培に期待をもつとともに、栽培の仕方を調べ、目的に合わせて栽培場所を求めるなど、栽培への願いを高めていく。(2) ○畑の耕し方、施肥、耕す活動に関心をもち、心を寄せて畑とかかわり、仕事をし、畑になじんでいく。(3) ○種のまき方を調べたり、自分なりに考えたりして、発芽への期待を込めながら種まきをする。(1) ○発芽したダイズに出会い、これからのダイズの成長をいっそう願ったり、鳥害等から工夫してダイズを守ったりする。(2) ○ダイズや畑の様子から、ダイズにとって好ましい世話を考えたり調べたりしながら、仕事をしていく。(2) ○花の開花やさやの膨らみから実りの期待を膨らませながら世話をしたり、ダイズを見守ったりし続ける。(2)							12

① 単元名	② 教科書ページ	③ 配当 時数	学習内容 ()内は時数	④ 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動	⑤ ④の教材・学習活動の概要、配当時数 ()内は時数 ※④に位置付けた理由	⑥ 感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動	⑦ ⑥の教材・学習活動の概要、配当時数	⑧ 次学年又は次々学年に移して指導することが考えられる教材・学習活動	⑨ ⑧の教材・学習活動の概要、配当時数 ()内は時数	⑩ ④の教材に係る配当時数を除いた、学校の授業が必要な時数
かがやく 夏	p44-49	4	○夏の生活への気付きや興味関心を広げ、様々な夏らしさを全身で感じ取っていく。(1) ○地域の川や池で水遊びをしたり、そこに住むいきものを捕ったりする活動を通して、それらに思いを寄せる。(2) ○耳に聞こえるもの、肌で感じるもの、においなど、夏に感じ取ったものを絵や文で表す。(1)	○地域の川や池で水遊びをしたり、そこに住むいきものを捕ったりする活動を通して、それらに思いを寄せる。 ○耳に聞こえるもの、肌で感じるもの、においなど、夏に感じ取ったものを絵や文で表す。	※学習の趣旨を事前に伝え、安全に十分に配慮した上で、地区ごとに近くの川や池で活動する機会を設けていただく。(1) ※例えば、夏休みの生活科学の課題として、取り組むなどが考えられる。(1)				2	
すすめ すいすい号	p50-53	8	○川やプールでの遊び体験からみんなで乗れる船を作りたいという夢を少しずつ醸成していく。(2) ○冒険心や夢を引き出しながら、それらを大きく膨らませて、自らの手で夢を形にしていこう。(4) ○船を友達と工夫したり試したりしながらつくり上げ、それに乗れるうれしさ、乗れたよこびを共有する。(2)	○川やプールでの遊び体験からみんなで乗れる船を作りたいという夢を少しずつ醸成していく。	※材料集めのために、家庭や地域の方に協力をお願いする活動が考えられる。(1)	○冒険心や夢を引き出しながら、それらを大きく膨らませて、自らの手で夢を形にしていこう。	○プールが行われない地域においては、教科書下p82-83「てづくり おもちゃ」の単元で、夢の実現や試しながらの制作体験の充実を図ることが可能。(4)		7	
いっぱい みのったね	p54-61	10	○ダイズの収穫に関心をもち、そのころあいを問題にして、収穫時期や収穫の仕方について考えたり調べたりして、取り入れの期待を高めたり収穫の時を自分で判断したりする。(2) ○ダイズの活用について調べたり友達と共有したりして、ダイズの活用への期待感や願いを膨らめながら、調理の準備をしたり、調理の方法を確かめて、願いに向けた調理に取り組む。(4) ○これまでの活動を振り返り、収穫のお祝いや畑を片付ける活動を通して、ダイズやダイズ栽培を味わい直していく。(3) ○途中で転校した友達にダイズを送ったり、調理の仕方でお世話になった方にお礼の気持ちを伝えるために、お手紙を書いたりする。(1)						10	
わたしたちが すむ 町	p62-73	16	○活動範囲を広げながら、自分が住んでいる町のことに興味関心をもって、みんなで出かけてみたいところを思い描いていく。(2) ○実際に出かけていく中で、五感で感じたことをもとに、新たな発見をしながら、疑問や願いを膨らめていく。(4) ○地域の施設や公民館、公園、お店などに出向き、それらにかかわっている人々と触れ合ったり、教えてもらったりして、親しみや愛着をもつ。(5) ○公共物や公共施設を使用し、みんなで使うことやそれを支えている人がいることがわかり、大切に使う。(2) ○身近な人々と伝え合う活動を行い、かかわることの楽しさがわかり、進んで交流する。(3)	○公共物や公共施設を使用し、みんなで使うことやそれを支えている人がいることがわかり、大切に使う。	※事前に学習の趣旨を伝え、地域ボランティアの方や保護者をお願いして、地域ごとに公共施設の見学や使用の機会を設けていただくことが可能。(1)				15	
冬と お正月	p74-81	8	○地域の冬の生活の知恵や工夫に気付く。(2) ○どんな新年に向けての準備を行うか、自分の思いを膨らめる。(1) ○家族と過ごしたお正月を振り返りながら、新年への願いをもつ。(3) ○お正月ならではのかるた遊びや書き初め、だるま市などの地域の行事に参加し、冬の生活を豊かにしていく。(2)	○お正月ならではのかるた遊びや書き初め、だるま市などの地域の行事に参加し、冬の生活を豊かにしていく。	※事前に学習の趣旨を伝え、地域ボランティアや保護者をお願いして、地域ごとのお正月の行事に参加する機会を設けていただくことが可能。(2)				6	

① 単元名	② 教科書 ページ	③ 配当 時数	学習内容 ()内は時数	④ 学校の授業以外の場での学 習が可能と考えられる教材・学習 活動	⑤ ④の教材・学習活動の概 要, 配当時数 ()内は時数 ※④に位置付けた理由	⑥ 感染症対策の観点 から指導順序を変更す ることが考えられる教 材・学習活動	⑦ ⑥の教材・学習 活動の概要, 配当 時数	⑧ 次学年又は次々 学年に移して指導す ることが考えられる教 材・学習活動	⑨ ⑧の教材・学 習活動の概要, 配当時数 ()内は時数	⑩ ④の教材に係る 配当時数を除いた, 学校の授業が必要 な時数
てづくり おもちゃ	p82-83	6	○身近な材料を使って手作りおもちゃの楽しさを聞いたり調べたり することを通して、自分たちでも挑戦し、つくり上げていく。(3) ○友達と相談したり、教え合いながら、遊びをさらに高めるために 創意工夫し、楽しく遊び合う。(3)							6
わたしと かぞく	p84-89	4	○家族に支えてもらっていることに気付き、自分のことは、自分で したり、自分でできることを増やしたりする。(2) ○家族の思いを感じ取ったり、家族の大切な一員として、よりよい 生活をしようと意欲を高めたりする。(2)	○家族に支えてもらっていること に気付き、自分のことは、自分で したり、自分でできることを増やし たりする。	※主たる活動の場は、家庭であ るため、家庭事情を踏まえなが ら、無理のない範囲で児童の活 動を支えていただく。(2)					2
大きくなった わたし	p90-95	6	○出産の時のお母さんの大変さや自分の誕生をよるこんだ周りの 人たちの気持ちを感じていく。(2) ○両親や身近な人々のこれまでの支えや、健やかな成長を願って 育ててくれたことに思いを寄せていく。(2) ○赤ちゃんや園児とかかわる中で、今の自分と比べながら心も体 も大きく成長した自分を実感する。(2)	○出産の時のお母さんの大変さ や自分の誕生をよるこんだ周りの 人たちの気持ちを感じていく。 ○両親や身近な人々のこれまでの 支えや、健やかな成長を願って 育ててくれたことに思いを寄せて いく。	※前単元と同様に主たる活動の 場は、家庭であるため、家庭事 情を踏まえながら、無理のない 範囲で児童の活動を支えていた だく。(2)					4
生活科の 二年間	p96-100	6	○自分のことはもちろん、自分たちの成長にも目を向け、これまで つくり上げてきた学習での思いや気持ちを共有していく。(4) ○これまでの活動でかかわった人、もの、ことへの親しみや頑張っ た自分や自分たちを感じていく。(2)							6